

[授業実践の詳細]

1 時限目 「Being Friendly to Ethiopia」

1 子どもの活動の流れ

教師海外研修の報告プレゼンテーションを聞く。

- ・エチオピア文化
- ・旅の思い出
- ・「目の前の少年にモノを与えるのは正義か」

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「イメージよりも楽しそうだった」「エチオピアの食文化を体験してみたい」「知らないことばかりだった」「エチオピアに行ってみたくらいと思った」等積極的な感想が多かった。
- ◇ 「一番印象に残ったところは、『今の彼らにとって、魚を与えることと魚の捕り方を教えることのどちらが必要なのだろうか』というところです。勉強面で置き換えてみると、『答えをそのまま教えることと答えまでの解き方を教えることのどちらが必要なのだろうか』となります。置き換えることで考えやすくなり、私なりの意見を持つことができました。」一番考えて欲しかった問いを印象付けることができた。

この時限のねらい

- ① 全校生徒・職員・地域の方々へ、広く研修の報告をする機会とする。(授業者)
- ② なじみの薄い外国エチオピアについて興味を持ち、国際協力のあり方について考える。

3 使用した教材

<教材1> 教師海外研修報告スライド



1 子どもの活動の流れ

- ① Finding members・・・背中に貼られた写真について相手に Yes/No 疑問を問い、同じ写真のメンバーを探す。
- ② Describing the picture・・・エチオピアの人々の暮らしに関する写真を見て、自由に英語で表現する。
- ③ Discussion・・・事前に与えておいた国際協力のあり方に関する問いについて、英語で意見を交換する。
- ④ International cooperation around us・・・Table for Two や Fairtrade など、身の回りにある国際協力の手段について知る。

この時限のねらい

- ① 地球市民として今の自分に出来ることを考える。
- ② 自分の考えを積極的に英語で伝えようとする。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「困っている人はいつでも助けたいと思う」「出来ることがあるなら支援したい」という積極派20%。
「ゆかりの無い国や知らない人を助けたいとは思えない」という消極派20%。どちらにしても自分の考えをしっかりと伝えることができた。
- ◇ 「モノを与えられる幸せもある」「与えられることが真にその人を幸せにするとは限らない」と意見は割れた。ディスカッションにより、前者の意見の生徒が後者の意見に納得し共感する姿が見られた。
- ◇ 具体的な身近な支援方法を紹介すると、大変興味がある様子だった。

3 使用した教材

<教材1>

エチオピアの写真とフェアトレードに関する写真



<教材2>

エチオピアの人々の暮らしに関する写真



<教材3> 問いプリント(内容)

- Q1: Do you want to help people in Ethiopia? Why? / Why not?
 Q2: Is it bad to give a pen to the boy? Why do you think so?
 Q3: What can be done to "teach them how to fish"?
 Q4: What can we do to help people in Ethiopia?

3 時限目～「Fairtrade to Lift People out of Poverty」

1 子どもの活動の流れ

- ① 本文理解: フェアトレードについて説明した本文を読み、内容を図や表にまとめる。途上国の労働条件の現状に気付く。
- ② フェアトレードチョコの試食: インターネットや県内の店舗でフェアトレード商品を購入できることを知る。また、その品質の高さに気付く。
- ③ 国際協力のあり方について、再度意見交換する。

この時限のねらい

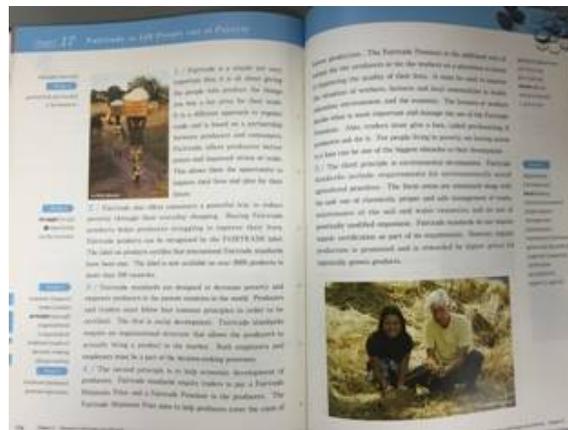
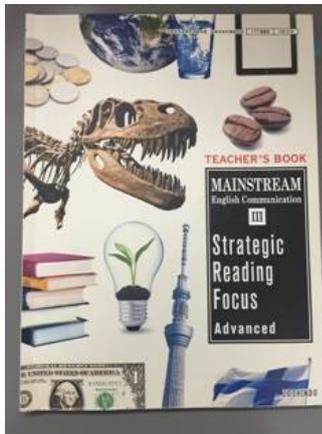
- ① フェアトレードがどのようなものか、どのような問題を解決するためのものなのかを理解する。
- ② 地球市民としての生き方について考えると共に、国際協力に関する自分の意見を英語で伝える。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「フェアトレードはとても画期的だと思う」「身の回りに、途上国支援につながるがあると分かった」「このレッスンで始めてフェアトレードという言葉を知った。もっといろんな人に知ってもらいたい」
- ◇ 「これから先、一度はフェアトレードの商品を買うとことがあると思う」の回答 100%

3 使用した教材

<教材1> コミュニケーション英語Ⅲ教科書 MAIN STREAM English Communication Ⅲ



<教材2> People Tree フェアトレードチョコ



■ 全体を通して

1 授業の様子



文化祭において、研修報告をする機会を得ることができ、授業を担当していないクラスの生徒にも話を聞いてもらうことができた。質疑の時間を設けなかったため、生徒たちが主体的に臨めていたかどうかを判断するのは難しい。エチオピアに好意的な印象が持てるような発表を心がけた。



2時間目の様子である。英語による意見交換は生徒にとってはかなり難しい活動ではあるが、前向きに取り組んでいる。使用した写真についてのエピソードを話すことで、エチオピアについて理解し、好意的に見ることができるようにした。

フェアトレードについては、新しい概念を英語で読み、理解することとなったため、細部の理解に苦しむ生徒も少なくなかった。レッスンの導入にもう少し時間をかけ、途上国の現状について学習しておく方法も良かったかもしれない。

2 参考文献・資料

特になし